



# 学校だより 2月号



石川小学校 学校教育目標  
育てます。「石川魂」

令和3年1月29日  
横浜市立石川小学校  
校長 寺園 淳

## 子どもの育ちをみつめながら

副校長 宮崎 里子

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための制約が多い中、学校教育を行ってきた令和2年度もまとめの時期となりました。保護者・地域の皆様の励ましや温かいお言葉をいただき、石川小学校は力を得てここまで学校教育活動を行うことができました。心よりお礼申し上げます。

さて、6年生は現在「卒業プロジェクト」を立ち上げて、子どもたちはそれぞれの部会に分かれて活動を始めています。

- ① 学校内清掃
- ② 4・5年生への引継ぎ
- ③ 感謝の気持ちを伝える活動
- ④ きもだめし
- ⑤ 校内〇〇（校内で遊ぶ計画）
- ⑥ 学年集会
- ⑦ 広報「いしかわ」卒業記念号作成（子どもが関わるのは初の試みです。）

卒業期になると子どもたちは、自分たちが考えたことをどのように実現していくか、段取りはどうするのか、必要なことを主体的に考え実行できるようになります。

思い起こすと4年前、今の6年生が3年生の時に私は着任しました。人なつこく、にこにこしながら話しかけてくれて、嬉しかったことを覚えています。4年生の野島宿泊体験学習では、たくさん先生方に助けていただきながらおいしいカレーを作って、満足気な顔をしていました。5年生の三浦宿泊体験学習では、初めて歩く土地でのウォークラリーに必死だったことが印象に残っています。今は6年生として学校全体を牽引する立場となり、優しさと協働をもって自分たちの思いを実現できる力が身に付きました。そして現在、「石川魂」を下学年に継承しなければならないという強い気持ちが、日頃の学校生活の姿から伝わってきます。

6年間の小学校生活を支えてくださった保護者・地域の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。子どもたちの育ち・・・こんなことも、あんなこともできるようになったという「人生のいいところ」を共にみつめ、一緒に喜びを分かち合うことができる幸せをかみしめております。

子どもたちは学校教育目標の目指す「協働」を、私たち大人同士の関りからも学んでいるのではないのでしょうか。感染症流行により、改めて人と人とのつながりの大切さが問われています。保護者・地域の皆様とは互いの思いを伝え合って一層の信頼関係を築き、子どもたちの歩みを共にみつめ、支えていく「協働」のパートナーでありたいと願っています。

今後とも変わらぬお力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。